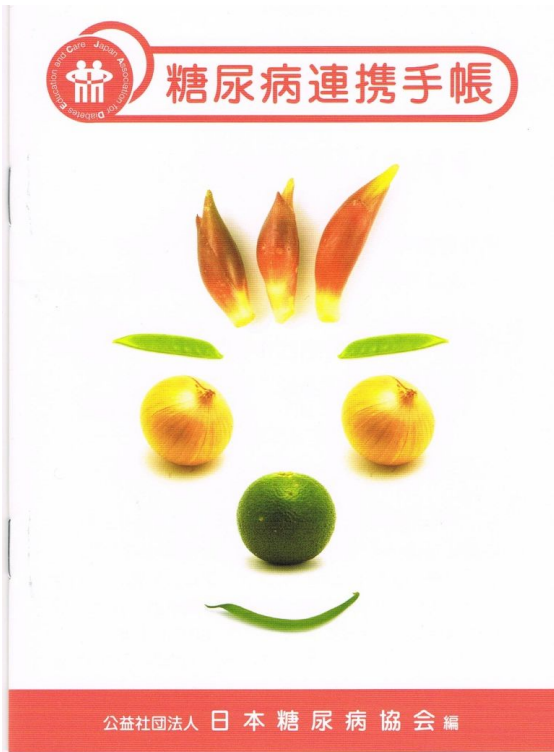


日本糖尿病協会 糖尿病連携手帳 (一部抜粋)



糖尿病連携手帳は  
日本糖尿病協会が編纂し  
糖尿病患者さんに配布しています

日本糖尿病協会は、糖尿病の正しい知識の普及を目指し、  
全国でさまざまな活動を展開しています。

糖尿病の予防と  
療養についての正しい知識の  
普及啓発

患者・家族と  
広く予備群の方々への  
療養支援

日本糖尿病協会

国民の糖尿病の予防と  
健康増進への  
調査研究

国際糖尿病連合の一員として  
糖尿病の撲滅を目的とした  
国際交流

ぜひあなたも日本糖尿病協会に入会して、  
よりゆたかな暮らしを手に入れてください。

● 糖尿病連携の説明

1. 糖尿病連携とは、患者さんを中心に「かかりつけ医」と「病院」、「かかりつけ眼科医」、「かかりつけ歯科医」が連携し、質の高い糖尿病診療を行う仕組みを指します(次ページ参照)。
2. 「かかりつけ医」は、糖尿病と初めて診断された患者さんや、治療を続けても血糖コントロール(高血糖・低血糖)が改善されない患者さん、あるいは合併症の定期評価のために患者さんを「病院」、「かかりつけ眼科医」、「かかりつけ歯科医」にご紹介します。
3. 「病院」は、数カ月～1年に1回の間隔で、合併症精査や治療変更の必要性についての検討を行い、「かかりつけ医」にご連絡します。以後、「かかりつけ医」は、定期的(1～2ヶ月に1回)な診察・検査(HbA1c測定など)・処方・栄養指導などを行っていきます。「かかりつけ医」は、必要がある場合、決められた期日を待たずに「病院」での診察をお薦めすることがあります。
4. 「かかりつけ眼科医」、「かかりつけ歯科医」は定期的に患者さんの診察を行い、病状を「かかりつけ医」にご連絡します。
5. 日本糖尿病協会では、糖尿病患者さんが糖尿病連携の中で、円滑に質の高い糖尿病診療を受けられるよう、この手帳を作成しました。患者さんは必ずこの手帳を持参し、「かかりつけ医」や「病院」、「かかりつけ眼科医」、「かかりつけ歯科医」を受診する場合は担当医に、また介護を受ける場合は「担当ケアマネジャー」に提示しましょう。処方薬の内容がわかるお薬手帳や説明書と一緒に持参しましょう。

この手帳は個人の責任で大切に保管、管理してください。

● 糖尿病連携の概略



診察には必ずこの手帳を持参してください。

## ● 基本情報

フリガナ  
**氏名**  
 ■生年月日  
 明・大・昭・平 年 月 日 男女  
**住所**  
 (〒 - )  
 TEL: ( )  
**勤務先**  
 TEL: ( )  
**緊急連絡先/続柄** ( )  
 TEL: ( )

記載日	年 月 日	記載者	
身長	cm	体重	kg
過去最大体重	kg(才頃)	20才頃の体重	kg
飲酒	飲まない・飲む( )		
喫煙	吸わない・吸っていた・吸う(本/日)		
診断	1型糖尿病・2型糖尿病・その他( )・妊娠糖尿病 年 月 日(才時)		
合併症	網膜症 なし・あり 腎症 なし・あり 神経障害 なし・あり 歯周病 なし・あり 動脈硬化 なし・あり(虚血性心疾患・脳血管障害・末梢動脈疾患)		
併存症	脂質異常症・高血圧症・肝疾患・高尿酸血症 その他		
既往歴			
薬剤情報			
家族の病歴	糖尿病 なし・あり( ) その他		
エネルギー	kcal/日	炭水化物	%日
たんぱく質	g/日	食塩相当量	g/日未満
介護度	なし・要支援 1, 2・要介護 1, 2, 3, 4, 5		

## 検査結果

検査日	/ /	/ /	/ /
施設			
体重(kg)			
血圧(mmHg)	/	/	/
血糖値(mg/dL)	空腹時・食後 分	空腹時・食後 分	空腹時・食後 分
HbA1c(%)			
TC/LDL-C	/	/	/
TG/HDL-C	/	/	/
AST/ALT/γ-GTP	/ /	/ /	/ /
Cr/eGFR/UA	/ /	/ /	/ /
尿アルブミン指数	mg/gCr	mg/gCr	mg/gCr
尿蛋白	定量	g/gCr	g/gCr
	定性	--・±・1+・2+・3+	--・±・1+・2+・3+
治療のポイント			

●治療方針により該当項目を記入し、治療に役立ててください。

指導日	指導者
●今回の指導のポイント	
..... ..... ..... ..... .....	
●次回までの目標	
..... ..... ..... .....	
指導日	指導者
●今回の指導のポイント	
..... ..... ..... .....	
●次回までの目標	
..... ..... ..... .....	

## 療養指導の記録